



# 珠玉

〒007-0868

札幌市東区伏古8条1丁目1番28号

TEL 781-2221 FAX 783-8062

学校 HP



## 式辞

校長 竹内 義人

春らしい暖かさとは名ばかりで まだ冬の名残を感じる本日、PTA会長の鈴木様、関係小学校、評議員の皆様をはじめ、来賓の皆様をお迎えし、令和7年度の卒業証書授与式を行えることを大変うれしく思います。会場の都合上、在校生すべてを体育館に入れることはできませんが、昨日の総練習では全校生徒で歌を通して卒業をお祝いすることができました。あらためまして、卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。3年前、大きな喜びと希望を胸に本校に入学され、札幌中学校の生徒として様々な経験をして今日を迎えました。この3年間は、たくさんの思い出ができたことと思います。

さて、私が札幌中学校に赴任して、一貫して皆さんに伝え続けてきたことがあります。それは自分自身でしっかりと立つ「自立」と それに伴っての様々なことへの「貢献」についてです。今日で義務教育は終わります。今までも言ってきたことではありますが、皆さんには、ぜひ、何事も人に判断してもらうのではなく、自らの学んだことや人の意見を参考にしながら、自分のことは自分で決めることができる人になってほしいと思います。それが「自立する」ということです。そのためにまずは「自ら考え、みんなで学び合い、問題を解決する力」「自分たちできまりを守り、互いを尊重し協力して生活する力」「自分の健康管理と体力の向上に取り組む力」を身に付け、それを使いながら、前向きに、先のわからない未来にたくましく挑戦していける人に成長してください。そしてさらに、自分のことだけでなく、社会に貢献できる人になってください。本校の目指す生徒像の中のひとつに「幸せを願う生徒」があります。社会の大きな変化の中で、自らの幸せだけでなく、周りの人の幸せを願い、行動できる人であってほしいと思っています。

3年生の皆さんが「札中愛」を合言葉に札幌中学校全体を盛り上げてきました。修学旅行や大運動会での3年生の盛り上げていく意識とその取り組みはとても素晴らしいものでした私はこの札幌中学校と、札幌中学校で頑張ってきた皆さんが大好きです。今日で皆さんは札幌中学校を卒業しますが、札幌中学校の卒業生であることを誇りに思い、この札幌中学校と一緒に頑張ってきた仲間や先生方との日々をしっかりと心に抱いてこれから未来に向けて頑張ってください。あなた方の未来はあなた方の意識と頑張りによっていくらかでも変えることができるのです。

終わりになりますが、卒業生の保護者の皆様、お子様の中学校のご卒業おめでとうございます。今日で中学校は終わりますが、子どもたちの自立を促しながら、手は離すことがあっても目を離さず、しっかりと成長を見守っていただきたいと思います。皆様と卒業生の健康と今後の成長を祈りながら卒業証書授与式の式辞といたします。

PTAを代表いたしまして、一言、お祝いを申し上げます。

卒業生の皆さん、ご卒業、おめでとうございます。

そして、保護者のみなさま、本日は誠におめでとうございます。

また、この3年間、PTA活動にご理解、ご協力をいただきまして、ありがとうございました。この場をお借りして、お礼申し上げます。

さて、皆さんは、この3年間で多くのことを学び、仲間とともに成長してきました。時には笑い、時には涙しながら、歩んできた日々が、今日のこの卒業式へとつながっています。この3年間で振り返ると、楽しいことばかりではなかったかもしれません。勉強が思うようにいかないこと、友達と喧嘩したこと、部活動や学校行事で悔しい思いをしたこともあったかもしれません。それでも、皆さんはそのたびに悩み、考え、努力をし、乗り越えてきました。そして今、こうして胸を張って卒業の日を迎えています。

皆さんは、学校生活の中で、たくさんの困難を乗り越え、自分で立ち上がる力を身につけてきました。そして、その力はこれからの人生でも、きっと皆さんを支えてくれるはずです。どんな道を選んでも、どんな未来が待っていても、皆さんならきっと乗り越えていけます。

そして、学校生活を過ごしてきた中で、皆さんには忘れないでほしいことがあります。それは、どんな時も、皆さんを支えてくれた人たちがいるということです。そばで見守り、時には厳しく、時には優しく、導いてくださった校長先生、教頭先生、担任の先生、いろいろな先生方。そして、皆さんのことを何よりも大切に思い、応援し続けてくれた家族の存在です。

ご家族は、皆さんが気づかないところでずっと応援してくれていました。疲れて帰った日の「おかえり」の一言、お弁当や食事の準備、困ったとき、悩んでいる時に、そっと、そばで支えてくれる存在です。時には「ウザいな」「鬱陶しい」「静かにして」と、思った事があったかもしれません。でも、それが、今日まで皆さんの力にもなっていたことを、どうか忘れないでください。

保護者の皆さま。お子さまの成長を支えてこられた皆さまに、心からの敬意を表します。小さかったあの子が、今日こうして立派に成長し、新たな一歩を踏み出します。これからも、子どもたちは夢や目標に向かって進んでいくでしょう。その道のりは、決して平坦ではありませんが、これまでと同じように、温かく見守り、そっと背中を押してあげてください。

最後に、卒業生の皆さん、今日という日は、ゴールではなく新たなスタートです。ここで得た経験や絆を大切にしながら、自分らしく未来へと歩いて行ってください。皆さんのこれからの人生が、希望と幸せに満ちたものとなりますよう、心から願っています。

改めて、ご卒業おめでとうございます。

冬の寒さが和らぎ始め、暖かな春の日差しを感じられる季節となりました。本日、この札幌中学校を卒業される3年生の皆様、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

私達は先輩方から学んだことがたくさんあります。日常生活はもちろん、部活や委員会、行事の楽しさや、取り組み方を教えてもらいました。わからないことがあれば優しく接し、優しく教えてくれるなど、私達後輩の成長を温かく見守ってくださりました。

札幌中大運動会では仲間と力を合わせながら全力で競技に励む先輩方の姿が格好良く、私達は強い憧れを持ちました。事前に準備をしてくださっていた3年生独自の応援歌も、行事を引っ張る「最高学年としての格好良い姿」として、とても目に焼きついています。

また、学校祭では先輩方が一番楽しそうに、一番全力で取り組んでおり、私達後輩もつられて楽しくなりました。3年生の会場全体を盛り上げる姿がとても輝いて見え、私達後輩の応援・歓声の声が自然に大きくなっていったことが印象に残っています。

このような先輩方から学んだ「何事にも全力で取り組むことの格好良さ」を、私達後輩が引き継ぎ、次の世代に繋いでいきたいと思えます。

先輩方、今まで優しく、笑顔で関わってくださり本当にありがとうございました。先輩方と共に楽しみ、喜び、時に涙を流したことは深く心に刻み込まれました。先輩方のこれまで繋いできた札幌中学校の伝統や想いを大切に引き継いでいきます。

これからは、自分で決断した輝かしい未来に進んでいくことと思えます。ときには成功だけではなく、大きな壁や失敗、自分の決断に後悔してしまうときがあるかもしれません。しかし、そんな時こそ自分を信じてください。札幌中学校で学んだこと、経験したことは先輩方の役に立ち、助けになると思えます。中学校3年間の経験に自信を持ってこれからも頑張ってください。

最後になりますが、先輩方のご健康と益々のご活躍を在校生一同お祈りし、送辞といたします。



雪解けが進み、柔らかな春の光が三年間の思い出が詰まった校舎を包む季節となりました。3年前と同じ光が降り注ぐ今日、私達はこの札幌中学校を卒業します。

着慣れない制服に身を包み、緊張を胸に体育館を歩いたあの日。あの日から、私達196人の中学校生活の幕が上がりました。それまでとは違った環境や新しく得る沢山の知識に戸惑いながら、仲間と共に協力し友情を育んでいきました。

二年生では、初めてのかわいい後輩ができ、「先輩」の肩書に恥じぬよう気を引き締めて生活していきました。そして、去年の卒業式にはお世話になった先輩方との別れがありました。先輩方に札幌中学校の伝統を引き継いでいただいた日から私達の「最後の1年」が始まりました。

そして、三年生。すべての行事に「最後」がついて全力で楽しみつつも終わったあとには寂しさを感じました。「最後」がつくのは行事だけではありません。学校で過ごす一日、一日が「最後」へのカウントダウンで、後悔しないように大切に過ごしていきました。

札幌中学校の三年間の思い出のすべてがこの校舎に刻まれています。楽しさも、嬉しさも、悔しさも、切なさも。様々な感情を、この校舎で仲間たちと先生方と感じました。自分の未来を決める大切な時間を札幌中学校で過ごすことができ、幸せでした。

在校生の皆さん。私達を「先輩」にしてくれてありがとう。あなたたちの笑顔に何度助けられたことでしょうか。部活動でも、行事でも、皆さんに素敵な姿を見せることができたでしょうか。これからの札幌中学校の「顔」は皆さんです。失敗を恐れずに多くのことに挑戦してカッコいい三年生になってください。そして、札幌中学校の伝統を絶やさず、次の世代へと繋いで行ってください。この学校を、よろしく願います。

先生方。「あい」のあるご指導をありがとうございました。先生方からは勉強上の知識だけではなく、これから先の道を歩んでいくうえで大切なことをたくさん学びました。学校全体を盛り上げようと三学年の士気を高めてくださったこと、私達のしたいことのサポートを全力でしてくださったこと、私達と真剣に向き合ってくださったこと。そのたくさん「あい」のおかげで、楽しい学校生活を送ることができました。先生方に出会えて良かったです。

そして、家族。15年間、無償の愛で私達を支えてくれてありがとうございました。登校するときの「行ってらっしゃい」「気をつけてね」、帰宅したときの「おかえり」。その毎日の当たり前の一言一言が私達に向ける愛だったのだと、今感じています。これから先、私達は自分で選んだ道に進んでいきます。進んでいく過程で、つまずいてしまうことがあると思いますが、その時は優しい笑顔で手を貸してくれると嬉しいです。

最後に79期のみんな。決して消えない青春をありがとう。最後の開催となった合唱発表会も、札中盛り上げ隊の意思を継いだ運動会も、圧倒的な発表ができた学校祭も。すべての行事はもちろん、何気ない日でさえ、みんなと一緒にだから本当に楽しかった。これから歩む道はみんな違うけれど、自分の道を正解にして一歩ずつ、確実に歩いていきましょう。そして、また、笑顔で再会しましょう。

最後になりますが、皆様のさらなる幸せと札幌中学校の一層の発展をお祈りして答辞とさせていただきます。三年間、たくさんの「あい」をありがとうございました。